

舞鶴市立舞鶴幼稚園の資料整理

安藤 智美

舞鶴幼稚園と文化情報学ゼミ

文化情報学ゼミでは、地域貢献型特別研究（ACTR）の事業として、2013年から立幼稚園の資料調査を行ってきた。舞鶴幼稚園は、明治17年（1884）に開園し、現存で京都府下最古、全国でも6番目の歴史をもつ幼稚園である。

2015年度は2月28日、5月8・9日、7月20日、1月24日、2月19・20日の5回、舞鶴幼稚園、舞鶴郷土資料館にて資料調査を実施した。舞鶴市教育委員会社会教育課小室智子氏、神村和輝氏の協力のもと、雛人形や五月人形、玩具の目録作成・撮影やラベル貼りをおこなった。

資料整理

作業は主に撮影・目録作成とラベル貼りの作業を2つの班でおこなった。普段の実習では古文書を対象としているため、様々な資料を取り扱う貴重な機会となった。撮影・目録作成作業では、2月は雛人形、5月は五月人形を主な対象として調査した。調査対象の人形は現在も舞鶴幼稚園にて使用されているものである。調査の際には人形が飾られている部屋を借りてその場で作業を行った。撮影、採寸、入力をそれぞれ1～2人で行い、時折指導をうけつつ目録を作成した（写真1）。それと同時進行で、もう一班が既に作成された目録をもとに資料にラベルを貼る作業を行った。枝番や見落としがないよう、目録の情報と資料内容を照らし合わせることに注意した。アルバムや写真、紙芝居、掛け軸など取り扱った資料の形態は様々であり、各資料にあわせてラベルを貼る位置を調節していった。アルバムであれば裏表紙、掛け軸であれば巻き上げたときに見える角といったように、分かりやすくなおかつ今後の展示に影響しない位置を考えて貼ることに努めた。なかには、すべての部分に絵や文字があるものや、バラバラの写真を一括して扱っているものなどもあり、薄様で包んだり封筒に入れたりするなどの工夫も凝らした。



写真1 雛人形の目録作成



写真2 図書室でのラベル貼り作業